

全行程 11km

第4回里山ウォーク



晩秋の里山散策、被災時帰る道、ゴールはぜんざい

ウォークに 45人

里山は良い天気!

秋の第4回久重里山ウォークが11月12日(日)に開催されました。久重地域内・外から45名(大人22名、子ども23名)の参加者がありました。当日は暑くも寒くもない気持ちの良いお天気でした。

今回の里山ウォークは、晩秋の里山の自然を楽しむことと災害対策として南海トラフ地震被災時に、「市街地から久重地区に帰ることのできる道を知る」というねらいもありました。

久重小から一宮神社へ

久重小学校を出発し乗馬クラブから急な山道を一宮神社まで下りていきます。この道は久礼野地域の60代半ばまでの方たちが歩いて一宮中学校(現在の一宮東小学校)へ通っていた道です。普段はほとんど人の通らないコースなので、事前(10月19日)に道を遮る倒木や竹をのぞいたり落ち葉を払ったりなどのコースの整備を行いました。しか



しながら、直前の風雨によって、落ち葉がつもり滑りやすく緊張しながら下りました。それでも子どもたちはドングリを拾ったり冬イチゴやカラスウリの実を見つけたりして深まりゆく秋を楽しんでいました。

法華堂の坂道を登る!

一宮小学校の北にある西天神で昼食をとって、エネルギーを補充し、後半の法華堂の坂道へ。前半は予定時間を少しオーバーしておりましたが、後半はとてもよいペースで登り、8合目の休憩場所に到着し、全員そろって記念写真を撮りました。

いよいよ最後の登りですが、意外にあっけなくゴルフ場峠に到着し、そこからはバス道沿いに学校まで歩き全行程11kmを元気にゴールできました。心地よい汗をかいた後には、クッキングガールの皆さんが作ってくれた、おいしいぜんざいをいただきました。



久重の有用植物 希少植物



ペニバラボロギク(有用植物)

山間部に多く、特に森林が伐採された際などに一斉に出現することがある。乾燥した道路沿いなどには少ないが、湿った畑や溝のわきなどではよく見かける。夏から晩秋にかけて開花し、時に集団で生えて、一面に綿毛をつける様子は壮観である。食感は柔らかくてアクもなく、食料とすることが可能である。シュンギクに似た香りがあり、食料野草の優品とされる。

編集後記

○「博報賞」受賞で「久重」注目! 一生分の運を使い果たした感じ。いえ、まだまだいきますよ~!(スノー)

○12/17(日)は防災イベント! そして毎週楽しみにしていた大河ドラマの最終回... あっという間に1年が終わりますね。今年も残り1か月、どうする!!(ひろっちゃん)

○今年には色々なイベントが復活し、走り回ってるうちにもう今年も残り1ヶ月! 早すぎる... (なとみはよれ)

○子どもたちの活躍が地域活性に繋がっていきゆうのを感じます(健康悠母)

○朝の散歩中に今年初めて雪虫の飛来を見ました。久重地域に冬がやってきました(杉本)

○里山祭りも豊稷祭も岡崎市長を迎えての開催になりました。浜田知事との懇談もあり、久重の魅力が行政に伝わりつつあることを実感(リン)。

人口減少への対応 「久重保育園を応援する会」を結成

人口減少下、今後の高知市公立保育園の在り方が検討されています。久重保育園も現在5人の園児がいなければ、来年4月は2人、再来年はゼロと減ってしまっています。11月6日には高知市の呼びかけで今後の久重保育園について今後の意見交換会が行われました。園児が少ないことは、行き届いた保育が可能になる反面、集団生活で得られることへの課題があるというものです。連携協議会では、久重のこどもは久重で育てたいとの強い思いから11月15日「久重保育園を応援する会」を結成し、今後の久重保育園とこども達を応援して行くこととしました。



年長さんが木曜市へ行った日、残った年中さん2人は近くの山へ散歩。「来年はこんな感じやろうかね」と先生方はのほほ...

豊かな里山 次代へつなげ!

【主な記事】

- 1面 第3回豊稷祭
- 2面 第3回豊稷祭
- 3面 博報賞 Youth公園づくり
- 4面 第4回里山ウォーク、保育園応援、有用植物

久重地域連携協議会 ニュース

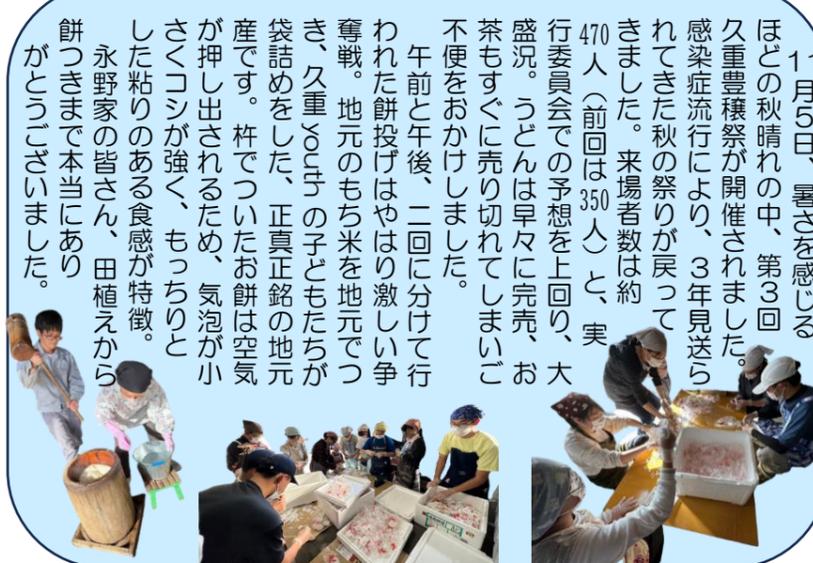
11月1日久重人口	世帯	人口
全体	499	1042
	(0)	(0)
久礼野	143	312
重倉	356	730
()内は前月との比較		

—第54号—
2023.11.25発行
発行責任者: 林照男
編集: 広報委員会
高知市重倉1596-134
電話: 090-4501-3190

ホームページ: 「久重連携」で検索ください。



みんなあ待ちよった!
4年ぶりの久重豊稷祭



久重小学校区防災イベント

日時: 12月17日(日) 8:50~16:00
開催場所: 久重小学校

地域防災講演会 14:00~16:00
『南海トラフ巨大地震が発生したとき、久重小の地域はどのような状況になっているのか』
講師 高知大学地震地質学 岡村 眞 名誉教授

11月10日、暑さを感じるほどの秋晴れの中、第3回久重豊稷祭が開催されました。感染症流行により、3年見送られてきた秋の祭りが戻ってきました。来場者数は約470人(前回は350人)と、実行委員会での予想を上回り、大盛況。うどんは早々に完売、お茶もすぐに売り切れてしまいが不便をおかけしました。

午前と午後、二回に分けて行われた餅投げはやはり激しい争奪戦。地元のもち米を地元でつき、久重こすの子ももち米が袋詰めをした、真正正路の地元産です。杵でついたお餅は空気が押し出されるため、気泡が小さくコシが強く、もちもちとした粘りのある食感が特徴。永野家の皆さん、田植えから餅つきまで本場にありがとうございました。



お客さんとの交流が楽しかった!!

久重 youth



11月5日、岡崎市長も参加して豊穰祭が行われました。地域外からも車が詰めかけ過去最高の約470人の参加者で久重地域が沸騰しました。

出展、出店も多数。団体出店が目立つ里山祭りと違って個人のさまざまな発表の場となっています。

豊穰祭に出店、出展して下さった方々の声を聞いてみました



豊穰祭は行った事も無く、また事業所としての出店参加も初めてでした。スタートからバタバタで、お客さん来てくれるかな? 等不安もありましたが、地域の方との交流も出来、とても良い勉強になりました。事業所全員で楽しく参加出来ました。



餅つき (永野宏光さん)



茹で落花生 (永野智大さん)

気温が高くて前回より売れ行きが不調でしたが、後半で他のお店のお姉様方が売り子をしてくれて有難くて嬉しかったです。普段はどこで売りゆうろう? と聞いてくれたお客さんもいらっしゃって励みになりました。地元で作ったものを地元の人に食べてもらえて美味しいと喜んでもらえて、よかったです。

想像以上にお客さんが来てくれ、里山のものを求めて山まで上がってきてくれて、嬉しかったです。農作物を直接購入したいと声をかけてくれた方もいて、交流の輪が広がった。ご縁に感謝したいです。



久重銭太鼓

今回初めて銭太鼓に参加させていただきました。恥ずかしながら久重に子供の頃から住んでいたにも関わらず今まで銭太鼓の事を知らず...子供と一緒に参加させて頂き、想像以上に難しかったです。だけど、地域の先輩方から教えて頂き皆さんと練習をして舞台が無事に終わった時は楽しかった〜って気持ちでした。まだまだ未熟ですがこれからも次の世代へ伝承できるように子供達と頑張って練習していきたいと思っています。



竹で作った下足袋釣り

う〜ん。2千円以上の品物は売れんね〜けど材料費考えたらあうできんし...むつかしい

枝を短く切った竹を並べて参加者のために作った里山オリジナルの下足袋釣り



クラフトバンドフルーチェ

私が今回1番嬉しかったことは、学生や子どもたちが集まって作業を手伝ってくれたこと。餅を袋に入れるのにどうやったら効率がええろう、など話し合いをしながら自分たちで考えて作業してくれていました。みんな初めてのことだったろうに、一生懸命手伝ってくれてありがとう。



山本ピーズ雑貨店 (寺川郁子さん)

<豊穰祭アンケート>

豊穰祭をより参加者に楽しんでいただくためのアンケートを実施することとしました。以下のご意見があればお答えください。

- ① 今回の豊穰祭でよかったと思われるところ
- ② 今回の豊穰祭で改善すればよいと思ったところ
- ③ その他 (豊穰祭以外でもご意見があればお寄せください)

ご意見はメモ用紙などにご記入の上 **12月15日(金)**までにオレンジポストに投函ください。

久重 natural チーム「博報賞」受賞おめでとう!

里山保全活動が評価!



全国の受賞は12件

博報堂教育財団が行う博報賞(教育現場から「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰)に、今年度は全国82の応募の中から博報賞に12件が選ばれ、県内からは久重地域の「久重 natural チーム」が受賞し、11月10日東京都内での贈呈式に参加してきました。

「久重 natural チーム」は久重地域の子どもたちの団体で、高知市助成事業こうちこどもファンドに2018年度から取り組み「まちを元気にしたい!」「久重の里山の魅力を発見し、地域内外に発信したい」との願いで活動を重ねてきました。「第2期 久重のまちづくり計画策定会議」への参画で、大人と共に久重の未来について話す喜びを感じ、もっと久重のまちづくりに関わりたいと「久重 youth」(わかもの部会)を立ち上げ、地域活動に携わるようになりました。地域の一員として認める地域の大人のはげましがさらに子どもを輝かせています!

久重の取り組みが全国的に評価

今回の受賞は、子どもたちが主体的に地域の里山の豊かさに気づき、未来のまちづくりについて考えることができるようになったことが高く評価されました。

小さな地域の活動を全国の舞台上で社会的に評価いただき、また名誉ある賞をいただくことができたのは、地域みんな

で取り組んだあかしです。受賞後、ニュースを見た地域の方から、「こんな活動をしているとは知らなかったけど、よくやってくれゆうね!」「久重という名前が出て私も嬉しかった!」などの、あたたかいはげましの声をたくさんいただき涙が出ました。

高知市長に報告

11月17日には、岡崎高知市長に博報賞の報告をしました。市長からは「りっぱな賞をいただきましたね。学校などが多く選ばれる中、地域の団体が受賞するのはあまりないことです。」と話されました。

『豊かな里山 次代へつなげ!』久重のスローガンを胸に、住みやすいまちづくりを実践すべくこれからも地域が一丸となって取り組んでいきたい!と思っています。



毎年作成している natural チームの活動成果物冊子の2022年度版の配布が遅れていましたが、このニュースの配布と一緒にお届けします。ぜひご一読ください

久重地域に公園を!

久重 youth が公園づくり

29日に工業生が小屋組み

久重の子どもたちの集まって遊べる場所づくりをしたい! お花をたくさん植えて、みんなでお花見をしたい! 地域のみんなが集まれる居場所づくりがしたい! と始まった公園づくりです。地域の設計事務所さん、工務店さん、高知工業高校建築科さん、足場やさん、板金やさんにお願ひして建築予定です。今、基礎工事が行われていまして、11月29日には、小屋組みを工業生が来て、組み立ててくれます。驚くほどたくさんの方たちのおかげで、小屋づくりが進められています。今から完成が楽しみです。なお、建設資金には博報賞の副賞でいただいた100万円を充てることにしています。



公園づくりがすすむ予定地の地図と小屋組みの基礎